

JAきたみらい

あけびま かなた

迎春

2025



vol.264

1

表紙の紹介は2ページをご覧ください



2025年は巳年!

季節の薫り



今年は十二支の6番目にあたる巳(ヘビ)年です。

ヘビは生命力が強く脱皮する特徴があることから、巳年は新たな芽が出る起点の年、豊穡の年になるなどといわれています。巳年にあやかり、今年も皆さんが健康に豊穡の秋を迎え、併せて努力などが実を結び、新たな芽が出る一年となりますことをご祈念申し上げます。

今回は、訓子府地区北栄の齊藤要さんが飼育するアオダイショウのアンジェリカくんに登場してもらいました。齊藤さんは2年半ほど前、圃場巡回をしていた際に偶然ヘビを見つけ、持ち帰って飼い始めたそうです。名前は道端で見つけたことから、道端アンジェリカさんにちなんで名付けられました。アンジェリカくんは全長1.5mほどでケージの中で飼われています。元は野生だったこともあり気性も荒く、飼い始めたころはケージをこじ開けてたびたび脱走していましたが、最近は慣れてきて少し穏やかになりました。取材では齊藤さんの手に乗り、つぶらな瞳のかわいい顔を見せてくれました。

2025年が皆さんにとって素晴らしい1年となりますように。

表紙紹介

実現に向けて成長の年に

寒気の影響で日本海側が大雪となった12月11日、当JA管内でもしんしんと雪が降り積もりました。これはチャンス!と、天気予報を確認すると翌日の天候は晴れました。翌日12日の朝、カメラを片手に車へ乗り込みました。外は氷点下11度と冷え込む中、撮影スポットを探して端野方面へ向かっていると、端野地区川向に朝日がきれいにこそうなスポットがありました。7時を回る少し前から太陽が明るく輝き始め、辺りを照らしました。撮影のために日の出の写真を撮るのには4回目となりますが、きれいに輝くその姿に毎回身の引き締まる思いです。

2025年の干支は「己巳(きのこみ)」です。干支にはそれぞれ意味がありますが、この己巳は、ヘビが脱皮しながら成長することから「生命」「や」「再生」の象徴とされています。また、「巳」を「実」という字と関連させて「実を結ぶ年」とも言われます。

皆さんそれぞれが思い描く目標や夢があると思いますが、実現にはいくつかのステップを踏むことが大切です。一つひとつをクリアして成長につなげ、実を結ぶ年になりますことを期待しています。良い年をお迎えください。



▲日が昇る前の風景

もくじ CONTENTS

○ まちがいきがし……………14	○ JAトピックス……………8	○ 季節の薫り……………2
○ JAからのお知らせ……………10	新春特集	○ 表紙紹介……………2
○ 私の夢と希望……………6	「実現に向けて成長の年」	○ 年頭の「挨拶」……………4

「食とみどり」で繋がる『みらい』のために」 更なるJAへの総結集を



きたみらい農業協同組合
代表理事組合長
大坪 広 則

明けましておめでとうございます。組合員の皆様をはじめ、ご家族の皆様には、健やかに令和7年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様にはJAきたみらい事業運営に対し日頃より深いご理解とご協力を賜り、厚く感謝とお礼を申し上げます。

今年の千支は乙巳（きのとみ）であります。十千の「乙」は柔軟性と適応力を表します。十支の「巳」は再生と変化を意味する蛇を表しており、蛇は冬眠から目覚め地上に這い出すこ

とから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。今年はこの巳年にあやかり、農業にとって飛躍の始まりなることを願うところであります。

環境変化に対応した営農努力に感謝
さて、昨年の営農を振り返ってみますと、3

月は平年を下回る気温で推移しましたが、融雪期は平年並みとなり、4月以降は道内各地で最速の夏日が記録されるほど気温が上昇し、春の耕起作業は平年並みにスタートしました。その後は降雨の影響により、各作物とも植え付け作業開始が早まることもなく、平年より3日程度早いスタートとなりました。その後は少雨・干ばつ傾向で経過したものの、晴天の日が多く日照時間も確保されたことから作物の生育は順調に推移していましたが、7月中旬以降、近年の異常気象の現れである記録的な猛暑が続き、きたみらい地域においても高温の影響により各作物ともに生育は前進化しました。

また、大気の状態が不安定な日が続く中、一部地域では降雹被害も発生し、玉ねぎなどの作物において茎葉の損傷被害が発生しました。酪農情勢については、為替や輸送コスト等の影響により飼料・肥料・燃油の高騰が続く中で、資材コストが更に上昇し、先行きが見えない生産環境ではありますが、粗飼料は好天に恵まれ品質・量ともに平年以上を確保できたことで、乳牛のコンディションについて大きく期待でき

る状況となりました。

このような厳しい環境下でありながら、農畜産物の安定供給に努めることが出来たことについて、組合員皆様の長年にわたる生産基盤の整備と営農努力に敬意を表するとともに、関係機関のご指導・ご協力に対し、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

現在、農業・農協を取り巻く環境は、国際紛争や急激な円安の影響により、燃料・飼料・肥料などの生産資材の高騰が続き、農業経営に大きな影響を及ぼしています。

また、日本国内では高齢化と生産年齢人口の減少が進行し、地域社会における人口減少や農業・物流分野の労働力不足が深刻な課題となっています。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間で農業構造転換集中対策期間と位置付け、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定すべく、引き続き検討を進めているところです。

激変する農業情勢に

JAの経営基盤強化が重要

そのような中、昨年11月には第31回JA北海道大会が開催され、前回決議事項の実践状況を踏まえながら、「『力強い農業』と『豊かな魅

力ある地域社会』と「ひとを育み、ひとと歩む」という将来ビジョンが決議されました。食料安全保障の強化と農業所得の確保、農業分野における環境負荷軽減への対応、人口減少局面下の人材確保等、農業・JAを取り巻く環境や今後の展望を踏まえ、JAグループが一丸となって実践すべき事項に焦点を絞り、関係者の行動変容を加速する大会と位置付けました。農業により育まれた「ひと」と、地域社会で生きる全ての「ひと」とともに「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」を実現していくために、今一度、協同組合の原点に立ち戻り、当JAの経営理念にもあるように、組合員の多様な価値観や高度化するニーズに対応した事業運営を展開できるように、組合員と役員が一丸となって、人づくりやJAの経営基盤を強化していくことが今後益々重要となります。

なお、JAグループでは、激変する世界情勢に加え、北海道の生乳生産において生産者が生産抑制を実施していることを背景に、担い手が希望をもって前向きに営農できるように各種要請活動を継続的に展開してきました。これまで積み上げてきた生産基盤を棄損することのないよう、牛乳・乳製品の安定供給と酪農経営の安定に向け、関係先各位の協力を仰ぎながら、生産コスト・在庫対策等への取り組みを今後も継続してまいります。

役員一丸となってJA運営に取り組む

JAの使命は、組合員が生産した安全・安心

で良品質な農畜産物を消費者へ安定供給しながら、地域社会にも貢献し、持続的に社会的責任を果たしていくことにあります。組合員の営農と生活を守ることこそ、第一義にあることは申し上げるまでもありませんが、「食料安全保障」の意味をあらためて見つめ直し、地域に暮らす一人ひとりが「量的にも質的にも十分な食料を手に入れられる」よう、消費者の方々のご理解をいただきながら、農業・JAが果たすべき役割を果たしてまいりたいと考えております。

あらためて、組合員の皆様とJAとが一体となった地域農業振興への取り組みが重要であると認識を深めたところであり、「組合員のため、組合員による、組合員とともに」という理念のもと「組合員の営農と生活を守る」ということを念頭に置き、第6次地域農業振興方策並びに中期経営計画の達成に向け、「食とみどり」で繋がりを結集し、『みらい』のために「経営資源と機能の総力を結集し、役員一丸となってJA運営に取り組んでまいります。組合員の皆様方には、協同組合の意義や組合員の役割についてあらためて振り返って頂きながら、更なるJAへの総結集をお願い致します。

結びにあたり、組合員の皆様のご健勝と、災害・農作業事故がなく豊稔の出来秋を迎えられたいことを願い、さらなる飛躍の年になりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

卓球や仕事など 成長する1年にしたい

趣味で卓球をしており、普段は子どもたちのコーチをしながら自分の練習もしています。昨年は卓球の全道大会で、全国まであと少しのところまで届かず悔しい思いをしました。今年こそは全国大会に出場したいと思います。

また、今年は卓球に限らず昨年より成長できるよう頑張っていきたいです。

留辺蘂地区・瑞穂
むらかみ はる
村上 陽さん
2001年生まれ
(平成13年)



健康に気を付けて、 家族のために頑張りたい!

昨年は大きな天災もなく、無事に1年が経たれたと思います。今年も農作業を手伝う予定なので、家族の役に立てるように大きな怪我や病気に気を付けて頑張りたいです。家族みんなが健康で平穏な日々をすごせるように願っています。

置戸地区・境野
なかがわ よしえ
中川 善恵さん
1953年生まれ
(昭和28年)



怪我なく、 充実した1年を!

昨年は初めて骨折を経験するなど怪我の多い年でした。自分も周りも大変な思いをしたので、今年は安全第一で仕事に励み豊穰の秋を迎えられたいと思います。家族との時間も大切に、忙しくも充実した1年にしたいです。

温根湯地区・平里
じんぎ やすあき
仁義 泰明さん
1989年生まれ
(平成元年)



リコーダーの全道大会で 金賞を取りたい!

訓子府町立訓子府小学校スクールバンドに所属していて、昨年の3月に第45回全日本リコーダーコンテストで金賞(花村賞)を受賞しました。昨年11月に地区大会に出場して、全道大会の切符を勝ち取ることが出来ました。1月に行われる全道大会で金賞を目指して、毎日の練習に励み、今年も全国大会を目指して頑張りたいと思います。

訓子府地区・西富
かわい はる
河合 葉琉さん
2013年生まれ
(平成25年)



新春特集

私の夢と希望

今年の干支は巳年です。
新春特集として「年男」「年女」のみなさんにご協力いただき、新年を迎え、新たな夢や希望を語っていただきました。

家族の時間を大切にしたい

毎年家族でキャンプに行っていましたが、昨年は天候が悪く行けなかったのが今年には行けたらなと思っています。他にも子どもたちが習い事で陸上やスケートなどに取り組んでいるので応援にも駆けつけ、これからも家族の時間を大切にしたいです。



北見地区・豊地
いのうえ りゅうすけ まゆか
井上 竜介さん・真由加さん
1989年生まれ (平成元年)

人との縁を大切に元気に楽しい1年に!

(結香さん)
家族共々、日々色々な人に助けられているなあと感じます。その縁を大切に今年もみんな元気で過ごし、旅行に数回行きたいです☺

柔道で上位目指す!

(なぎさん)
今年で小学校生活最後なので、柔道の試合で上位入賞したいです☆



相内地区・柏木
はぎばら ゆか
萩原 結香さん・なぎさん
1989年生まれ(平成元年) 2013年生まれ(平成25年)

健康と豊穰の秋に なりますように!

大学時代からの長い付き合いになる友人が道外にいるので、今年こそは会いに行きたいです。今年も家族含めて健康に笑顔で過ごしたいです。そして昨年に続いて災害が少ない年で豊穰の出来秋を迎えられるように祈っています。

上常呂地区・広郷
やはぎ ともひろ
矢萩 大寛さん
1977年生まれ
(昭和52年)



中学校では 数学を頑張ります!

3きょうだいで卵焼きの好みの味付けが違うので、昨年は自分好みの卵焼き作りが出来たようになりました!
将来の夢は、保育士か介護福祉士です。きっかけは幼いとき達のお世話です。人のお世話をお仕事に出来るように、勉強を頑張ります!特に数学を頑張りたいです。また、図工が得意で、頭の中のイメージを形にすることが得意です。中学校でも活かしていきたいです。

端野地区・緋牛内
かいぬまる うい
貝沼琉羽依さん
2013年生まれ
(平成25年)
(猫のカワウソちゃんと)





J A トピックス

JAきたみらい青年部南支部、ホクレン肥料工場を視察

JAきたみらい青年部南支部は12月2日、学習会としてホクレン肥料(株)北見工場の視察を実施し、部員17人が参加しました。はじめに会社紹介のビデオを視聴し、その後工場を見学。残念ながらBB肥料の工場は稼働していませんでしたが、原料をはじめ造粒や冷却、包装など各製造工程の見学を行いました。工場の見学後は北見くみあい土壌分析センター



▲肥料の造粒を見学する部員

を見学し、土壌分析の知識を深めました。最後に模型を使ってBB肥料の混合の流れを確認し、質疑応答を行いました。部員からは「BB肥料はフレコン内で成分の偏りが生じないのか」や「土壌分析の検査項目に測定してほしい項目が含まれていないか、分析できないか」など見学中も含めて多くの質問が挙がり活発な学習会となりました。



▲BB肥料の混合について学ぶ様子

他単組の活動や想いなどを知る

〈全道JA青年部大会〉

北海道農協青年部協議会は12月5～6日、札幌パークホテルで第73回全道JA青年部大会を開き、当JA青年部からは19人が参加しました。大会では各地区の大会で優秀な成績を収めた青年部による主張発表や動画コンテストのほか、一般社団法人家の光協会による地上学習会や、株式会社オレンジバードCOOコチエフ・アレクサンダー氏より「世界から注目を浴びる北海道。農業はどうマーケティングをするか」と題して基調講演が行われました。



▲講演するコチエフ氏

また、懇親会ではアームレスリング大会や純農Boyオーティションなどのほか、参議院議員候補の東野ひでき氏が参加し、参加者と交流しました。当JA青年部からは動画コンテストで30秒CMを上映しましたが、残念ながら受賞とはなりませんでしたが、アームレスリング大会に出場予定だった端野地区の箱木敬亮部員は諸事情により参加が叶わず不戦敗となってしまいました。優勝を目指して、次年度また出場する予定です。



▲懇親会の様子

オホーツクJA女性協フレッシュミズ部員研修会

オホーツクJA女性協議会は11月28～29日の2日間、オホーツクJA女性協フレッシュミズ部員研修会を開催し、オホーツク管内JAから約60人、当JAフレッシュミズからは6人の部員が参加しました。

1日目はフレッシュミズ活動の育成と充実強化を目的に行われている作文コンクールに応募した作文発表が行われました。本年は、オホーツク管内から北オホーツクフレッシュミズの吉田氏が発表。「わたしの一歩」をテーマに、自身の生い立ちや農家に嫁いだ際に感じた様々な気持ち、フレッシュミズでの充実した活動など実体験

を話しました。体を動かすレクリエーションでは他の地域の会員と混合の9チームに分かれて取り組み、会員同士で応援し合うなど会場は賑やかに盛り上がりました。その夜は懇親会も開催され、さらに交流を深めることができました。また、当日は作品展示も行われ当JAからは坂下晴香会員の「バラクラバ」と「ブックカバー」が展示されました。

2日目では前オホーツクJA女性協フレッシュミズ部会副部会長の岡内舞氏を講師に迎え、「体軸体操」に取り組みました。本研修会を終える頃には、参加者同士で連絡先を交換するなど、地域を越えてフレッシュミズ会員の輪が広がった研修となりました。



▲今年度役員を務めた萩原副会長(右から2人目)



▲レクリエーションに取り組む参加者



▲坂下会員の作品(バラクラバ、ブックカバー)

第39回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会・70周年記念式典

〈JAきたみらい女性部西支部がダンスを披露〉

オホーツクJA女性協議会は12月5日と6日の2日間、網走市の網走湖荘で第39回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会・設立70周年記念式典を開催しました。14JAから200人以上の女性部員や関係者が参加し、当JA女性部からは35人が参加しました。

本大会では、同協議会の令和6年度活動の報告、女性部による組織活動体験や家の光記事活用体験についての作文発表のほか、4人組ロックバンド・TRIPPLAN EのコンサートやJA北海道中央



▲アトラクションを披露する当JA女性部西支部

会北見支所の米地電基氏による講演「オホーツクの天気と防災」が行われました。同女性協設立70周年記念式典では、歴代の会長・副会長が表彰され、記念品が贈呈されました。北見からは第13代会長の黒須倫子氏が表彰を受けました。

懇親会では各テーブルで和気あいあいと交流が行われる中、JAえんゆう、JAサロマ、当JAの3JAがアトラクションとしてダンスを披露しました。当JA女性部からは、西支部がAdoの「唱」を踊り、大盛り上がりでアトラクションの最後を飾りました。また、手作り工夫展では当JA女性部から2作品が出品しました。



▲同女性協相内会長(右)から表彰を受ける黒須さん(左)

クロスワードパズル

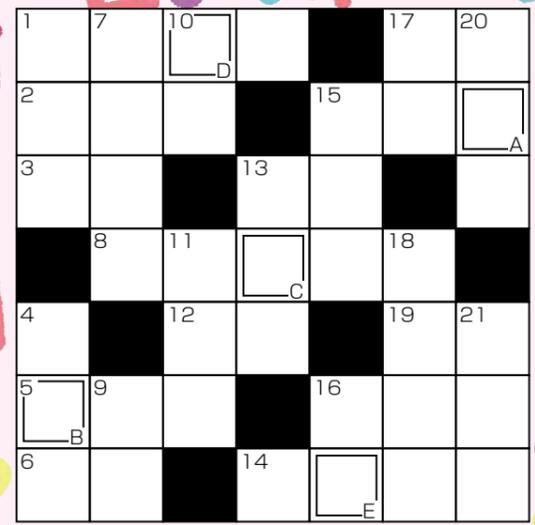
二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

ヨコのカギ

- 宝船の絵を枕の下に入れておくとよいものが見られるとか
- 窓を開けて取り込みます
- カード式のホテルもあります
- 中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- きねと臼でつくもの
- 「本の虫」と呼ばれることも
- 七草を入れて炊くことも
- 初詣で一年の〇〇を祈った
- 「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- マスカラを付けるところ
- 脊椎動物にはあります
- 「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- 耳が冷えないようにイヤー〇〇をつけた

タテのカギ

- 年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- サトイモの親芋のまわりにてできます
- コートなどに用いる毛織物
- ここで話しても〇〇があかないから見に行こう
- しんしんと降り積もるもの
- 箱根駅伝は10の〇〇〇、計217.1kmで競います
- さんずい、うかんむりなど
- ほうきに乗って飛べるとか
- 10を3回かけ合わせると
- 縁起をかついで食べる受験生もいます
- おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- チャールズ・チャップリンは〇〇〇の王様です
- 可燃ではありません



① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____

応募方法

クロスワードパズルの答えが解った人は、別紙の応募用紙に答えと広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。
抽選で6名の方に、JAきたみらいの「オリジナル商品詰め合わせセット」をプレゼント致します。

今 年はお米の品不足、野菜の高騰と物価高が生活に大きく影響した年でした。でも自分たちで野菜が作れて食べられる農家の生活ってありがたい。強く実感した年でした。

(上常呂地区 合田 まゆみさん)

令和6年も高温干ばつなどの影響があり、生活にも様々な影響がりましたが、無事に一年を終えることができそうですね。令和7年も大きな事故なく、実りの多い一年になりますように頑張りましょう！

寒 いので外に出たくないネ

(匿名希望さん)

雪も積もってきて、本格的な冬が来ましたね。
道がつるつるしていたり、風が強く吹雪になったりと危険なことも多いので、お休みの日は暖かい家でゆっくり過ごすのもいいと思います！

VOICE 読者の声

おひさまサラダをホームページで閲覧できます！

広報誌「おひさまサラダ」を当JAのホームページで紹介しています。右側にあるQRコードから閲覧できますので、ぜひご覧下さい。



フルーツパラダイス

野菜ソムリエ KAORUの

イラスト：小林祐美子

カリンのプロフィール

【分類】バラ科ポケ属

【原産地】中国

【おいしい時期(旬)】10～12月ごろ

【主な栄養成分】ポリフェノール、ビタミンC、カリウム、食物繊維など

カリン

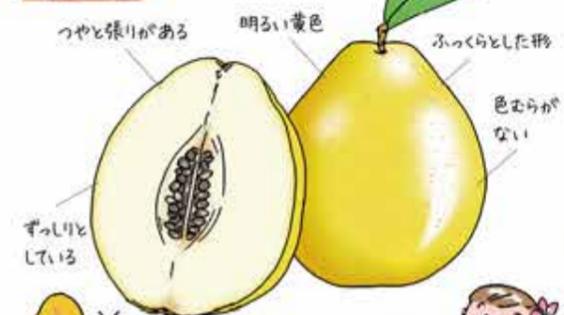
冬の健康をサポートする芳香豊かな果実

カリンのチカラ

古くから健康に良い果実として親しまれてきた

- ポリフェノール**：細菌やウイルスによる喉の炎症を鎮める働き
- カリウム**：高血圧予防やむくみ解消に
- ビタミンC**：免疫カマッパ、風邪予防や疲労回復に
- 食物繊維**：腸内の有害物質を体外へ排出する働き

選び方



NG

- 傷がある
- 穴が開いている→虫食いかも……

フレーティーな香りは熟している証拠

保存方法

比較的日持ちする

空熟：常温・冷蔵保存
新聞紙で包みポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室や冷暗所で保存

未熟保存：スライスして蜂蜜漬け、果実酒、シロップ漬けなどに

カリンのいろいろ

産地の国産

山形県、千葉県、神奈川県、山梨県、長野県、奈良県、和歌山県、香川県、愛媛県など

カリンによく似た果実「マルメロ」
表面に産毛が生えている→マルメロ
カリンは皮がつるつる
果肉を食べるジャムはマルメロで作ったもの

食べ方・楽しみ方

果肉は食べず、加工してエキスと香りを楽しむ

蜂蜜漬け
カリン 適量
蜂蜜 カリンが浸るくらい

カリン酒
カリン 500g
氷砂糖 100g
ホワイトリカー 900ml

1～3か月漬け込むだけ！
半年～1年程度漬け込む
半年ほどで飲める
半年くらいで実を取り出し、年ほど置くとよりまろやかに

1、2か月くらいで実を取り出す
冷蔵庫、または冷暗所で保管
時々瓶を揺らして全体にエキスが回るように

パンやヨーグルト、パンケーキ、クッキーに
パイやクッキーなどお菓子作りに

注意
種は毒性があるので食べないように！
加熱・アルコール漬け・加糖加工などで毒性は分解される

カリンのじみツ

歴史
古くから薬用や観賞用などに
平安時代
日本に導入

中国の書物
『本草綱目』
生薬「檳榔(カリン)」
酔いませやたんの除去に効果が
あると記されている

花言葉
「羞恥」
香に淡いピンク色の美しい花を
豊かに咲かせることから

A



B



Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字で探しましょう。

まちがいがさがし

出題・イラスト：酒井栄子



◆何分で解けるかな？家族、親戚みんなで挑戦してみてください。
(答えは13ページ下です)

編集後記

- ・あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。
- ・昨年は皆様にとってどのような年でしたか？大変なことも多くあったかと思いますが、新年は脱皮を繰り返すヘビのように気持ちも新たに前進する年にしていきたいですね。この1年が皆様にとって素晴らしいものになりますようお祈り申し上げます。
- ・近頃は冬らしい寒さとなり体調不良の方も増えているようです。どうぞお体を大切に楽しい年末年始をお過ごしください。

(榎本 明莉)

JAきたみらい概要

(令和6年12月16日現在)

- ・組合員数(正) 1,595人
- ・組合員数(准) 5,526人
- ・組合員戸数(正) 840戸
- ・貯金 121,993百万円
- ・貸出金 14,573百万円
- ・出資金 5,133百万円